



国境って何だろう？Part2

国境がある理由の一つは国々によって文化や風習、言語が違い同じような生活を送るのが難しいケースがあり自然発生的に国境ができる。また、国によっては戦争状態にあったり、他の国と敵対関係にあり、その争いのネタを自国に持ち込んで欲しくないとの思いもある。

一方で植民地支配の影響で無理矢理作られた国境が世界のあちこちにある。その一つがアフガニスタンとパキスタンの国境ハイバースだ。

アフガニスタンとパキスタンの国境線はデュラント・ラインと呼ばれ、1893年に当時の英領インド（現在パキスタン）とアフガニスタンの境界を定めたものだその長さは2,640kmに及ぶ。勝手に引かれたこの国境線はアフガニスタンの最大民族であるパシュトゥン人の居住地域を分断してしまった。写真の国境線の手前と奥に同じパシュトゥン人が住んでいて、国境線の両側に親戚や友人が住んでいる状態になっている。当然、パシュトゥン人にとって国境は厳格なものではなく、地元住民はフリーパスで国境を行き来している。

ちなみに歴代のアフガニスタン政権は一度もデュラント・ライン認めていない。オフィシャルの国境でありながら、アフガニスタン政権が認めず、地元住民もチェックなしで行き来できる。それ故にこの国境から武器やテロリストが行き来してしまう状態が続いている。

アフガニスタンとパキスタンの非武装地帯

戦争が起きれば国境を越え、安全な隣国へ避難しようとする人が増える。オフィシャルに通行できるボーダーはハイバースとチャマンボーダーの2箇所だけだが、2640キロにも及ぶ国境線を管理することは実質不可能でアフガニスタンとパキスタンは人、物、武器、テロリストが自由に行き来できると言っても過言ではない。

日本の南北の南北の長さが約3000キロなので、その長さの国境線を管理するのがいかに難しいか想像できるとだろう。

日本は陸続きの国境線を持っていない、海に囲まれているため外国人の不法入国を阻止することは他国に比べてかなり容易である。海に囲まれ隣の国に行くには船か飛行機を使わなければならない小さな島国日本。そんな日本が何故諸外国から狙われるのか？

それは難攻不落の島国であり、四季があり自然豊かで自給自足ができる国だからだと思う。保水力満点の山があり、豊富な水資源に恵まれている日本。日本に住んでいると当たり前のように感じるが、水道水がそのまま飲める国は世界でも稀である。

世界一の軍事大国アメリカは、メキシコとの間に大きなフェンスを作り、必死に不法移民の流入を防いでいる。何故、苦勞して国境線を守り、他所の国の人を自国に入れないように必死になるのか。



あなたが外国人の立場なら、どう考える？

僕が立っているのはヨルダン、
紅海の向こうの山はイスラエル



その大きな理由は「経済格差」だ。

メキシコには十分な仕事がなくアメリカに行けば何倍も稼げる仕事がある。多くのメキシコ人は不法入国してでもアメリカに行き働きたいと思う。

不法移民が増えればアメリカ国内の労働賃金は低下し、アメリカに来たにも関わらず職に付けない人は犯罪を犯す確率が高くなり、治安の悪化も心配される。

日本は自由の国だからパスポートを持っている人なら誰でも日本に観光で来れると思っている人が多いだろうが、実は日本は外国人の流入をかなり制限している。

国によっては日本の観光ビザを取得することが難しい、または不可能に近い国もある。観光目的で日本を訪れた人がそのまま不法就労しないように日本のビザを取得するためには財産の証明が求められることもある。

日本は難民条約に加盟している国だが、難民の受け入れは諸外国と比較すると極端に少ない。何故、国境が必要なのか、何故、他の国の人を自国に入れたがらないのか。日本人の立場からすると治安が悪くなる、秩序が保てなくなる。それは日本で生まれた日本人の感覚。

では、なぜ治安が悪くと思うのか？それは経済格差。日本という国が他の国から見れば豊かで仕事もある国だから。働く意思があっても仕事がない国が多い。もし我々が途上国で生まれ、日本という国に行ってみたく思った時、日本に行くことができないと知ったら、それがどれほど不平等だと感じるだろうか。

我々は当然だが、いつも日本人の立場として物事を考えている。日本の常識、日本人の常識を世界に当てはめようとしてしまうことも多々あると思う。時として、外国人の立場だったらどうだろう？と相手側の立場に立って物事を考えてみるのも大切なこと。国境とは隣接する国との**経済格差を示すライン**なのかもしれない。途上国との経済格差を利用して儲けている日本だからこそ、経済格差の問題、国境の問題を真摯に考えるべきだと思う。

講演会情報

2024年10月20日（日）

【講演会】14:00～15:30

【質疑応答&交流会】15:30～16:45

【定員】40名

【場所】マロウドイン八王子

東京都八王子市三崎町6-11

2024年12月1日（日）

【講演会】14:00～15:30

【質疑応答&交流会】15:30～16:45

【定員】40名

【場所】福岡商工会議所 407会議室（予定）

福岡県福岡市博多区博多駅前2-9-28

編集
後記

講演会後のお楽しみ！

9月21日に開催した日野市での講演会で4回目。今回のテーマは、久保田の原点となるアフガニスタン。日本で報道されている情報とは異なる事実に参加者の皆さんも驚きの表情を隠せない様子。毎回、このような表情や感想をいただくのも講演会の醍醐味の1つ。そしてもう一つの楽しみが講演会後の懇親会！毎度、講演会参加



者の半数以上が懇親会まで参加されます。懇親会ができる幸せをかみしめると同時に平和に向けて、しっかりと向き合っていきたい。

The Real Report 坂田兼一

The
Real
Report

発行元
問い合わせ先
発行責任者

合同会社G&G Marketing TRRサポートチーム
support@giveandgiven-marketing.com
坂田 兼一